

# 「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書

モデル校名 東京都立第二商業高等学校

学校の概要 (平成15年4月現在)

	1年	2年	3年	計	教員数
学級数	6	6	6	18	45
生徒数	215	206	229	650	

学科内訳 各学年とも情報処理科2学級、商業科4学級)

※本モデル事業への参加対象生徒は、各学年とも情報処理科の生徒である。

## 1. 本年度当初、本校が抱えていた「総合的な学習の時間」の課題

本校では、平成15年度入学生より新教育課程に移行した。「総合的な学習の時間」は、第3学年に配当したため、カリキュラム上の位置付けは平成17年度の3年生である。本事業に参加する生徒は、一部の選択科目や課題研究の履修者を中心に有志で構成し、将来の開講に向けての準備「プレ総合的な学習の時間」という設定で実施することになった。これまで培ってきた専門科目としての「課題研究」との関連・対比に重点を置きながら、指導・評価方法に発展したい。

## 2. モデル地域としての研究主題を、各学校でどのように受け止め、どのような目標設定をしたのか

本校では、①地元企業との連携による企業のホームページ制作、②八王子市教育委員会との連携による市内小中学校のホームページ制作、といった事業を既に実施中である。これらの活動を契機に、地域連携や校種を越えての学校間連携を一層充実させる計画を模索中であつた。本研究事業は、絶好の機会ととらえている。特に、入学前の小中学校段階における教育活動の内容、児童・生徒の実態を理解することが、発達段階に応じた目標設定・指導方法・支援内容などをよりの確なものにするために重要であると考えた。

## 3. 平成15年度の各学校の取組内容と、その結果どのような成果と課題が見られたのか

今年度は、①教員間の相互理解、②教育内容の理解、③児童・生徒の実態把握、などに重点を置き、小高・中高・小中の3系統に分けて連携を実施した。

### (1) 具体的な取組内容 (高校が参加したものの概要)

①高校生による小中学生向パソコン教室 (夏季休業中)、②小学6年生の移動教室実施報告プレゼンテーションの支援 (9~11月)、③小学5年生のタウンマップ「七国・みなみのガイド」の制作支援 (2~3月)、④中学1年生の学校紹介 (パンフレット、学校ホームページ、スライド等) の制作支援 (1~4月)

### (2) 成果

①生徒 専門科目の既学習事項定着、表現能力、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力の育成などに成果が上がった。

②教員 互いの教育内容や児童・生徒の実態を理解することは、本研究事業のみならず将来にわたり、教育活動を実践するうえで極めて有益であると感じた。日常的に学校間での連携をとること、特に高校においては中学との連携の必要性は大きい。

### (3) 課題

年度途中から始まった本年度は、各学校とも年間計画のもとに動き出している状況での連携であつた。このため、各種調整事項 (行事計画の変更、日程・時程、時間割等) や、教員間の多大な打合わせ (段取り) 時間の捻出に苦慮した。また、各科目の年間指導計画との関連性を持たせながら、事前事後学習の時間確保にも大きな負担が感じられた。なお、生徒の移動手段や交通費確保も大きな検討課題である。

## 4. 本年度の課題を踏まえた、平成16年度の取り組み予定

小中学校での教育内容や児童・生徒の実態を鑑み、「課題研究」との差別化を図りながら、専門科目で養った知識や技術を生かせる、高校3年間の指導計画・評価・支援のあり方を研究する。また、異校種の理解を一層深め、効果的で円滑な連携方法・体制について考察したい。

以上

# 「総合的な学習の時間」の開講を視野に入れた全体計画

平成16年度東京都立第二商業高等学校

※ 本校は、今年度「総合的な学習の時間」をカリキュラム上に位置付けていない（平成17年度3年生で開講）ため、昨年度の実績を踏まえ、「選択科目」「課題研究」などと関連させて、この全体計画を作成した。

●生徒の実態  
ア. 積極的に行動できる  
イ. 向学心が旺盛である  
ウ. 公共心や社会性が高い  
エ. 良好な人間関係を保っている

●教師の目標  
ア. 健康・明朗・人間性豊か  
イ. わかる授業を目指す（授業で勝負し指導力を高め、研修に励む）  
ウ. 本気で褒め、本気で叱る  
エ. 人生を語り、「生きる」ことの魅力を伝える

●学校の教育目標  
＜学校スローガン＞  
考・判・行・責（自分で考え、判断し、行動し、結果に責任をとれる社会人の育成。）  
＜第二商業の目指す教育＞  
ア. 社会性と基礎学力が身についた生徒の育成  
イ. 専門性を生かした実業教育の実践（資格取得を通し卒業証書に厚みを持たせ自信をもたせる教育）  
エ. 生活習慣を確立させ「あたりまえのことが、あたりまえにできる」生徒の育成  
オ. 学校行事と部活動の充実（耐性を身に付け、人間関係を磨く場の充実）

○総合的な学習の時間のねらい（学習指導要領）  
(1) 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること  
(2) 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにすること

## 共通理解事項

●生徒の人間形成の場として「表現」能力を育て、人と人とのつながりを豊にする教育活動を充実する。  
●目的意識をもたせ、社会に貢献できる資質・能力の開発とともに規範意識や社会性を育む。

## 「選択科目」「課題研究」などの目標

1年	2年	3年
・状況判断、現状分析能力の育成 ・コミュニケーション能力の育成	・問題発見、解決能力の育成 ・プレゼンテーション能力の育成	・新たな課題や問題発見能力の育成 ・自己の主張を効果的に表現できるプレゼンテーション能力の育成

## 目指す授業像

●生徒参加型や、自ら考えさせる  
●自ら学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力等の能力を育成  
●自分の考えや主張を効果的に表現できる  
●自主的活動を活発にし、集団の中での個を自覚させ、チームワークの大切さを体験する場を積極的に提供する

## 関係機関との連携

- ・七国小学校
- ・七国中学校
- ・八王子市教育委員会
- ・東京家政大学
- ・東京造形大学
- ・都市基盤整備公団
- ・桑友会（同窓会）
- ・PTA関係
- ・地域商店、企業
- ・その他

## 内容・単元および教科との関連（専門教科）

1年	2年	3年
○高校生による小中学生向パソコン教室の企画・運営し、自治性・自主性を育む  自ら学んだことを、指導する過程において既学習事項の定着と、コミュニケーション能力や現状認識能力、表現力を身に付ける	○地域タウンマップの制作支援を通して対象者によって表現方法を選択する力を養う  地域を多角的にみつめ、老若男女多様な地域住民に、的確に物事を伝える工夫を通して表現方法を身につける	○プレゼンテーション資料の制作を通して表現力を磨く  必要な情報を効率よく収集・整理し、適切な分析をしながら、多様な表現力をもって効果的に事実や考え方を伝えられるようになることを目指す

## 特別活動・学校行事

ホームルーム活動の充実を図り、集団の中の個人として、望ましいあり方を探求させる。また、部活動の活性化を通して、社会生活・人間関係等に対する望ましい態度を育てる。  
生徒会活動・学校行事の充実を図り、積極的に参加する姿勢を育て、自主性・協調性と自治能力を育てる。

## 将来の「総合的な学習の時間」の開講に向けて設定した評価規準

観点	1年	2年	3年
捉える（発見）	○現状を正確に認識 ○自己の経験との対応・対比	○多角的な状況把握 ○意見交流を深める	○多様な情報収集・整理・分析手法 ○情報の信憑性を判断
考える（思考）	○問題点の指摘・発見 ○あるべき姿の提案	○状況に応じた問題解決手法を用いる ○多様な状況から分析力を高める	○多様な問題解決を提案 ○新たな問題点・課題の指摘
伝える（表現）	○事実を正確かつ効果的に伝える	○対象者によって伝え方を工夫する	○自分の考えや主張を効果的に表現し、相手を納得させる
生かす（発展）	○興味関心を広げる ○自分の生活の中に生かす	○積極的に調査・取材に取り組むようになる ○世代や経験の異なる人と、意見交流を深める	○自己の考え方や、生き方に関連付けることができる ○自分の生き方を見つめられるようになる